

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成22年9月16日

| | | | |
|-----|---------|------|-------|
| 施設名 | 高知青少年の家 | 所管課名 | 生涯学習課 |
|-----|---------|------|-------|

1施設の概要

| | |
|--------|--|
| 指定管理者名 | (財)高知県青年会館 |
| 指定期間 | 平成21年4月1日～24年3月31日 |
| 施設所在地 | 吾川郡いの町天王北1-14 |
| 業務内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関すること ・施設及び設備の維持管理に関すること ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関すること ・主催事業を計画し、実施すること <p><平成21年度主催事業> 親子ハーブの寄せ植え教室 親子サイエンス教室 親子布ぞうり教室 親子工作教室 親子陶芸教室 親子消しゴムはんこ教室 親子マジック教室 親子ブリザーブド教室 パソコンで遊ぼう 初心者パソコン教室</p> |
| 施設内容 | <p>研修及び会議を計画する各種機関・団体・学校・グループ・サークル・企業等に施設を提供している。 利用開始日:昭和63年6月1日 施設面積:1230.39㎡ 建築物:鉄筋コンクリート2階建 施設概要: 大集会室200名×1 研修室45名×3 会議室20名×1 和室20名×1 和室15名×1 視聴覚室50名×1 談話室(ホール)</p> |
| 職員体制 | <p>所長1名(青少年体育館館長を兼務) 事務長1名(青少年体育館館長補佐を兼務) 事務員1名 指導員2名</p> <p style="text-align: right;">計5名</p> |

2収支の状況

| | | H20年度(決算) | H21年度(決算) | H22年度(予算) |
|----|---------|------------|------------|------------|
| 収入 | 県支出金 | 18,983,958 | 18,973,684 | 19,028,000 |
| | 事業費収入 | 88,250 | 72,000 | 57,500 |
| | 使用料 | 613,280 | 717,880 | 607,000 |
| | 収入計 (a) | 19,685,488 | 19,763,564 | 19,692,500 |
| 支出 | 事業費 | 499,942 | 458,162 | 449,500 |
| | 管理運営費 | 8,747,043 | 7,847,864 | 7,682,000 |
| | 人件費 | 8,914,006 | 9,849,832 | 10,078,000 |
| | 消費税 | 929,217 | 907,826 | 888,000 |
| | 支出計 (b) | 19,090,208 | 19,063,684 | 19,097,500 |

3.利用実績

(1)利用団体数

| | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平均 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 団体数 | 1,011 | 1,034 | 961 | 1,043 | 988 | 1,007 |

(2)利用者数

| | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平均 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 人数 | 20,165 | 21,117 | 20,300 | 19,859 | 19,195 | 20,127 |

4業務の評価

| 項目 | 状況説明 |
|---------------------|---|
| ①利用拡大のための取り組み | <p>利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地元の小学校児童の放課後の居場所づくりとしてのパソコン教室や、初めてパソコンにさわる一般の方対象の初心者パソコン教室を実施している。特に、子どもたちに人気があり、高学年よりも低学年の申し込みが多くあった。 ○体験学習を通じた親子のふれあいを中心とした主催事業を実施している。平成21年度は「親子マジック教室」、「親子プリザーブド教室」等4教室を新しい内容として実施し、利用者アンケートでも高い評価をいただいた。 ○利用団体の代表者に対して、施設利用のお礼と今後の利用についてのPRを兼ねたはがきを2回送付した。受け取った方からは返信をいただくこともあり、利用促進に向けたフォローアップにつながっている。 ○土佐市や、いの町の小学校を年度当初に訪問して、主催事業や施設の利用等について協力依頼を行った。また、主催事業の案内チラシは、近隣の土佐市内4校、いの町内4校に持参した他、その他の土佐市いの町内の学校にも人数分を印刷して送付した。 |
| ②利用者へのサービス向上のための改善策 | <p>利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主催事業の全員の参加者や施設利用団体の代表者に声かけしたりアンケートの記入をお願いし、施設利用者のニーズ等の把握に努めている。 ○敬老会が利用したときに、身体の不自由な方の参加があった。利用者に配慮し、土足での利用を許可し、会の終了後、主催者、職員、清掃会社で清掃を行った。 ○車は、駐車場が狭く混雑するために、車で来館が多い場合にはできる範囲で交通整理や案内をしている。 ○平成20年度に作成した「緊急時対応マニュアル」「緊急連絡網」を職員に周知し、徹底を図った。 ○国の経済対策による臨時交付金を活用して、パソコン(20台)・地デジ対応TVの購入、自動ドア装置取替修繕等を行った。 |
| ③施設の運営について | <p>施設の運営について、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新規プログラムを指導員が中心になりながら、職員全員で協議を行い、様々な意見を取り入れて開発を行っている。 ○新型インフルエンザの流行に対して、消毒液の設置や注意を呼びかける張り紙をするなどの取り組みを行ったことにより、大事に至ることはなかった。 ○職員が役割分担にとらわれることなく、お互いが声をかけ合い連携しながら日常業務や主催事業に取り組んでいる。 ○施設敷地内の雑草の草刈等を職員が行い、経費の節減に努めている。 |
| ④利用実績 | <p>○平成20年度と比較して、利用団体が55団体、利用者は664人減少した。主に団体の研修目的の利用が多い。</p> |

| | |
|--------|---|
| ⑤収支の状況 | <p>○平成20年度と比較して、使用料収入は104千円の増収となった。 また、管理代行料については、当初予算額のほぼ全額の支出となった。</p> <p>平成21年度予算額 19,013,000円 残額 39,316円</p> |
| 総合評価 | <p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね事業計画のとおり管理運営されている。 ・主催事業は、親子のふれあいをテーマとした体験学習を実施し、ターゲットを絞った活動が展開されている。 ・平成21年度は、職員からの提案をもとに施設職員が全員で協議して、親子マジック教室や親子ハーブ教室など4プログラムを新たに開発して、利用者にも喜んでいただいた。 ・利用率アップのために利用団体代表者に対し、お礼とPRを兼ねたハガキを年2回送付しており、相手方から返事をいただくなど今後の利用促進につながっている。 ・課題になっている職員の資質・指導力向上のための研修は平成21年度も実施できていないが、日常業務や主催事業において、それぞれの職員が役割にとらわれることなく連携して取り組んでいる。 ・今後、さらなる向上を目指して、以下のことに取り組んでもらいたい。 <ul style="list-style-type: none"> ①青少年体育館が隣接しているという特色を活かして、両施設を一体的に利活用するための施設運営 ②職員の資質向上を図るための計画的な研修 ③利用者の立場にたったホームページの見直し |

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの